

独立・創業

夢実現に向けての創業考

このコーナーでは独立心旺盛な読者向けに創業(独立・開業・起業)のポイントや、各種団体のご協力でシリーズで紹介いたします。

第10回

成功するために必要な15の起業力

その⑦ マナー力 忘れてはいけない、起業者は新参者(新人)

ビジネスにおいてマナーは非常に重要です。特に日本は序列社会で、誰にでも同じマナーであればいいというものではないところが、難しいところです。

組織でいくつ役職者であっても、独立して起業するときには、どこに行っても新参者(新人)です。前職の立場を白紙にして、謙虚にふるまう必要があります。

また、「忙しい」のは、皆、同じです。仕事が絡むものは、たとえ宴席であっても、時間のコントロールをしっかりして備えましょう。

初めての会や訪問時

- 10分前に着くようにする
- 来られた方から、あいさつと名刺交換をする
- もとの仕先や部下がいても、末席に座る

名刺交換

- 名刺交換した人には、次の日にはお礼状を出す

【注】忙しい人には、手書きの礼状より管理や返信が簡単なメールが喜ばれる



独立
開業
起業

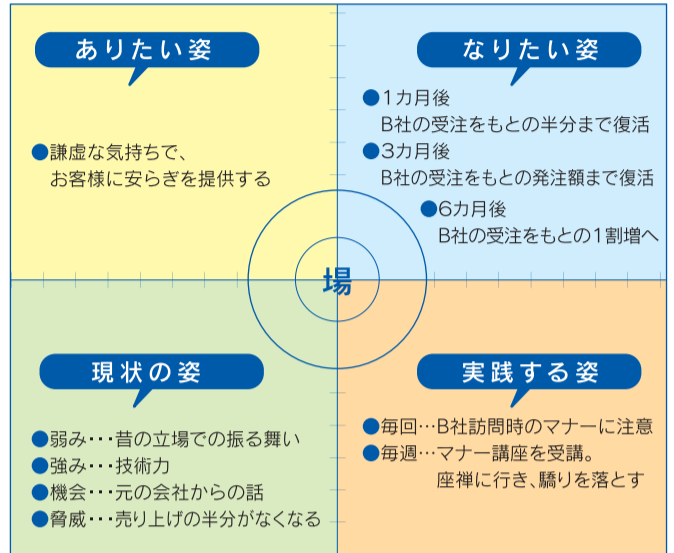
創業

講座

volume.10

4画面でみるマナー力のつけ方

【例】Aさんは、地元では大手の企業B社の技術部長でした。長年の夢である独立をすることになり、仕事はB社からの発注が売上げの半分を見込めることになっていました。ところが、半年もするとB社からの発注が激減。理由を聞くと、いつまでも部長時代の振る舞いをするAさんにB社の社員が拒絶反応を示したためでした。



(近藤修司:4画面思考より)

成功している起業家

彼らに共通しているのは、相手の性別、年齢や会社の規模などに関係なく、同等のひとりの人間として接することです。さらに、何事においても学ぶ姿勢があり、それが、謙虚な振る舞いに結びついています。

● 次回は「人脈力」です。

(取材協力・熊本商工会議所)

創業者インタビュー 11

より良い「農業」のために、研究者と現場の架け橋に

「これまでの研究とデータ解析のノウハウをもっと農業の現場に近い場所で生かせないか」。そうした独立への思いを話してくれた、(株)ペコIPMパイロット代表の浦野知さん。

浦野さんは北海道大学農学部を卒業後、九州沖縄農業研究センターで11年間、研究者として天敵を利用した病害虫の管理やデータ解析などに従事。この経験を生かし、09年7月に同社を設立し、農業における病害虫管理の調査・研究やデータ解析、またこうした調査・研究や統計解析をもとにした病害虫のリスク管理までを提案する事業を行っています。現在、熊本市新町の本社以外に、熊本市南熊本3丁目のくまもと大学連携インキュベータ内に研究オフィスを開設。「会社の経営や営業も初めての経験。さまざまな情報収集や財務のことなどIM室の支援もあって順調に進んできました」と浦野さん。打ち合わせや商談などには会議室やセミナー室を利用できるのも利点という。

現在、県内では熊本高専との共同研究や、また北

陸や愛媛、鹿児島など各地の大学や行政、研究機関からの調査・研究、データ解析の依頼を受ける同社。今後は「農家からの直接のご相談やリスク管理のご提案などにも意欲的に取り組んでいきたい」と浦野さん。将来的に病害虫の増減予測や管理システムのソフトウェア化、病害虫の発生を早期に発見できるシステムの開発なども視野に「より良い農業のために、農家の方々より手軽に総合的に管理できるための支援につなげていきたい」と今後の抱負を語ってくれました。



(株)ペコIPMパイロット代表・農学博士
浦野 知さん(46歳)

本社:熊本市新町4丁目
研究オフィス:南熊本3丁目
☎096-327-9173
<http://www.pecoipm.com/>

創業ボックス

創業に関する応援ガイドブックを発行

日本政策金融公庫熊本支店・こくきん創業支援センター熊本

創業時にはさまざまな情報を収集することは大切です。しかしながら、「どこに、どう相談すればいいのかわからない」と経験した創業者も少なくないようです。

日本政策金融公庫熊本支店・こくきん創業支援センター熊本(熊本市安政町、桶土井雅章所長)では昨年12月に創業に関する応援ガイドブックとして「くまもと創業応援ガイドブック」を発行しています。

このガイドブックには、例えば、事業計画のアドバイスに関する相談や、助成金に関すること、税務、社会保険やインキュベーション施設のことなど、県や市などの行政機関、商工会議所、中小企業支援センターをはじめ、創業に関するさまざまな相談内容に応じた県内の支援機関や相談窓口の住所や電話番号などが一冊にまとめられています。冊子はA4版、40ページで、創

業に関するさまざまなトピックスも紹介されています。冊子は同センターで希望者に配布するほか、県内各地の支援機関などでも配布しています。また同センターでは、創業者向けのメールマガジン配信サービスや、毎週水曜日には午前10時から午後7時の時間帯で創業に関する相談なども受け付けています。

☎096-353-6182



インフォメーション

第39回 くまもとベンチャーマーケット 二火会 ～ビジネスプラン発表会～

日時 / 平成23年3月9日(水)15:00～
 プレゼンテーション 15:00～17:20
 商談会 17:20～17:50
 交流会 18:00～19:30
 会場 / メルパルク熊本(3F・中岳)
 発表企業 / (株)クラッセ・(株)ラクティブジャパン
 (株)芦田商店・(株)福元技研

参加費 / 無料(交流会3,000円)
 主催 / (財)熊本県起業支援センター
 共催 / (財)くまもとテクノ産業財団
 (社)九州ニュービジネス協議会熊本地域委員会
 問合せ (財)熊本県起業支援センター
 TEL.096-287-4465

第52回 KDRIイブニングセミナー

日時 / 平成23年3月29日(火)17:30～
 テーマ / 「心理学をビジネスに活かす、NLP(神経言語プログラミング)」
 講師 / (株)ユニバーサルアカデミー代表 田口圭二氏
 会場 / くまもと大学連携インキュベータ1階 会議室

参加費 / 無料
 主催 / 独立行政法人中小企業基盤整備機構九州支部
 問合せ / くまもと大学連携インキュベータ
 TEL.096-364-5115

研究室・オフィスの入居者を募集

大学連携型起業家育成施設 くまもと大学連携インキュベータ

独立行政法人中小企業基盤整備機構が設置・運営する熊本市南熊本3丁目の大学連携型起業家育成施設「くまもと大学連携インキュベータ」では、施設内の研究室・オフィスの入居者を募集しています。

同施設は、地域の大学の研究成果を活用した大学発ベンチャーや、地域企業の新事業創出などを支援するための公的賃貸施設で現在、医療・バイオ・ものづくり・ITの関連企業など17社が入居しています。施設にはインキュベーションマネージャー(IM)が常駐し、経営相談をはじめとした総合的な支援や育成を行うと共に、ビジネスセミナーの定期的な開催やマッチングコーディネートなども行っています。公募中の研究室・オフィスは5室で、研



究室は48m²、オフィスは48m²と24m²の2タイプがあります。月額賃料は48m²が14万1,120円、24m²が7万560円。入居期間は最長5年間。創業5年未満または大学発ベンチャーには熊本市の賃料補助もあります。入居対象者は、新たな事業展開や大学等との連携による新製品の研究・開発を計画する人など、詳細は同施設まで。

【お問い合わせ】

くまもと大学連携インキュベータ
 TEL 096-364-5115
<http://www.smrj.go.jp/incubation/kdri/>